

MR07-01 観測航海の概要

1. 航海概要

1. 航海番号／使用船舶

MR07-01／海洋地球研究船みらい

2. 航海名称

化学物質循環研究

3. 研究課題名／課題提案者

主要課題 北太平洋物質循環観測研究／渡邊修一(海洋研究開発機構)

M06-102 海上気象連続観測による広域データベースの作成／米山邦夫(海洋研究開発機構)

M06-103 海洋における降水の安定同位体観測／一柳錦平(海洋研究開発機構)

M06-104 海洋における窒素固定生物の生態に関する研究／古谷研(東京大学)

M06-105 西太平洋熱帯域における水温・塩分の変動(Argo計画)／四竈信行(海洋研究開発機構)

M06-106 エアロゾル、雲の立体分布と光学特性の観測／杉本伸夫(国立環境研究所)

M06-108 黒潮輸送・海面フラックスの研究／市川洋(海洋研究開発機構)

M06-109 海洋地球物理観測データの標準化及び海洋底ダイナミクスへの応用に関する研究／松本剛(琉球大学)

M06-111 北太平洋中層水および亜熱帯モード水の酸素17安定同位体比異常／才野敏郎(名古屋大学)

4. 航海期間および寄港地

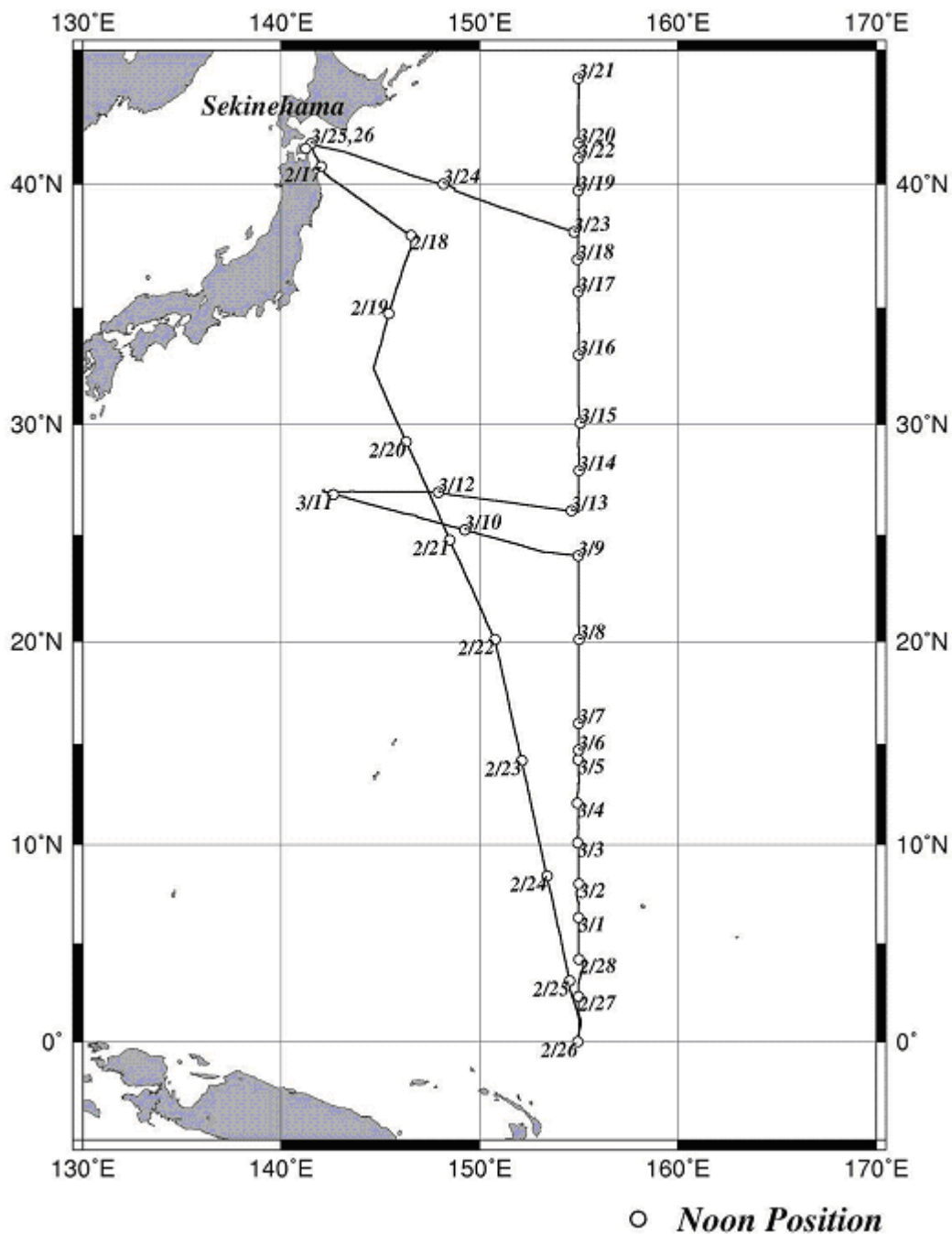
2007年2月17日 関根浜出港

3月11日 父島寄港

3月26日 関根浜入港

5. 調査海域

Cruise Track of MR07-01



2. 目的

海洋の物質循環と気候変動の関わりを把握するために西部北太平洋の物質分布を明らかにし、水平輸送量、溶存成分の時間変化量解析データの取得および粒子による鉛直物質輸送量の定量化に関する観測研究を行う。本航海では東経155度線に設けた定線において、赤道から北緯44度まで観測研究を実施する。

3. 首席研究者

渡邊修一(代表研究者) 海洋研究開発機構 むつ研究所(非乗船)
松本和彦 海洋研究開発機構 むつ研究所
E-mail: matsumotok@jamstec.go.jp

4. 乗船共同研究者

脇田昌英 海洋研究開発機構 むつ研究所
佐々木建一 海洋研究開発機構 むつ研究所
藤木徹一 海洋研究開発機構 むつ研究所
時長宏樹 海洋研究開発機構 地球環境観測研究センター
富田裕之 海洋研究開発機構 地球環境観測研究センター
Kristene E. McTaggart 米国海洋大気庁 太平洋海洋環境研究所
J. Michael Strick 米国海洋大気庁 太平洋海洋環境研究所
V. V. S. S. Sarma 名古屋大学 地球水循環研究センター
北島聡 東京大学 農学生命科学研究科
塩崎拓平 東京大学 農学生命科学研究科
Nguyen Van Nguyen 東京大学 農学生命科学研究科
児玉武稔 東京大学 農学生命科学研究科

5. 観測概要・結果

東経155度線に沿って赤道から北緯44度までCTD採水観測を実施し、海底までの化学成分分析と表層の植物プランクトン観測を実施した。北緯3度から北緯22度の間に8基のARGOフロートを投入し、北緯30度以北では毎測点でラジオゾンデ観測を実施した。黒潮続流域の海面フラックス観測のための海面係留ブイ(J-KEOブイ)を(37.9N, 146.6E)に設置した。